

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

No.	2025-011
投書日	2025/6/15
タイトル	「科学的思考の基礎」における教科書指定および成績評価方法に関する意見書
投書内容	このたび「科学的思考の基礎」という科目の授業運営に関して、学生として疑問を抱く点があり、意見書という形でご報告申し上げます。 当該科目では、担当教員の執筆した教科書が指定されており、講義の成績評価においてもこの教科書の内容が重要な要素となっています。特に問題だと感じるのは、成績評価のために行われる2回の小テストにおいて、指定教科書にしか掲載されていないイラストやページ情報を前提とした設問が含まれている点です。これは、教科書を購入しなければ解答できない問題があることを意味し、実質的に教材購入を強制する構造になっております。 講義自体はスライドを用いて丁寧に進行されており、教科書を使用しなくても内容の理解は十分に可能です。それにもかかわらず、教科書の図版を参照しなければ正解できないような設問があるのは、「学習の到達度」を測るという試験の本来の趣旨から逸脱しているように思われます。さらに、教員が自ら執筆した教科書を指定し、その購入を事実上必須とすることには、学生から見て金銭的利益との結びつきを疑念視せざるを得ない側面もあります。 もちろん、教員が自著を教材として用いること自体は、専門性を活かした教育の一環として理解できる場合もあると思います。しかしながら、それが評価制度と結びつくことで「教材購入が成績に影響する」という状態になると、公正な学習機会の提供という観点から問題があると考えます。 このような状況が継続されることは、教育の透明性や公正性に対する信頼を損なうおそれがあるとともに、経済的な理由で教材を購入できない学生に不利益を生じさせる可能性もあります。つきましては、「科学的思考の基礎」における教材指定および評価方法の妥当性について、ご検討とご確認をお願い申し上げます。 学生として、学習の成果が正当に評価される環境、そして誰にとっても平等な学びの機会が保障された大学教育を望んでおります。何卒よろしくお願い申し上げます。
回答日	2025/7/24
回答	この度は、「科学的思考の基礎」の授業運営について、真摯なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。 まず、成績評価の方法が教科書の購入を事実上強制する構造になっているのではないかとのご懸念、ならびに、それによって公正な学習機会が損なわれるのではないかと、というご指摘について、重要な問題提起であると認識しております。 大学としましては、シラバスに基づいた授業運営と公正な成績評価が行われることを基本としております。その上で、学生の皆さんが経済的な状況等にかかわらず、等しく学習の機会を得られる環境を保障することは、大学の重要な責務であると考えております。 ご指摘いただいた内容につきましては、科目担当教員に伝え、今後の

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

	授業運営や成績評価の改善に向けた参考としていただくよう申し送ります。 改めて、教育環境の改善に向けた貴重なご意見に心より感謝申し上げます。大学として、学生の皆さんが安心して学業に専念できる環境づくりに一層努めてまいります。
--	---